

## 東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 埋立/棧橋接続部護岸の施工状況 ～鋼管矢板井筒護岸のドライアップを開始～

### トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事のうち、埋立・棧橋ハイブリッド構造の根幹となる埋立/棧橋接続部（以下「接続部」と呼ぶ）においては、11月25日、**鋼管矢板井筒護岸内部のドライアップ※1が24ブロックのうち5ブロックで完了**しました。残りのブロックについては、順次施工し、平成21年1月中旬までに全ブロックのドライアップを完了させる予定です。

接続部護岸（鋼管矢板井筒護岸）は、全長（約430m）に渡って滑走路直角方向に打設される2列の鋼管矢板φ1,600（外壁部）、それと直角に滑走路平行方向に打設される鋼管矢板φ1,600（隔壁部）及び鋼管矢板井筒基礎頂部に構築される頂版コンクリートで一体化した24個の連続した矩形セル※2により形成され、埋立部と棧橋部ジャケットという異なる構造を一体的に結びつける重要な構造物となります。

鋼管矢板打設、鋼管矢板と鋼管矢板を結合する継手部にモルタルを注入する継手処理工が完了した現在は、井筒護岸内部を止水するための止水盤コンクリート工と、**鋼管矢板で囲まれた井筒内部の海水を水中ポンプで排水し気中と同じ状態にするドライアップの施工を行っています**。ドライアップ完了後は、頂版コンクリート、スリット柱、PCC桁などの上部構造の構築を開始し、上部構造の構築完了後、棧橋側の鋼管矢板を切断・撤去します。

なお、接続部の施工範囲は、C滑走路を離発着する航空機の飛行経路の直下に位置するために厳しい高さ制限が設けられており、クレーン作業等の高さ制限を越えての施工は、全て、C滑走路の使用が制限される「夜間」となります。

※1 ドライアップ…鋼管矢板井筒護岸の上部構築のために、鋼管矢板で囲まれた井筒内部の海水を排水し気中と同じ状態にすること。

※2 矩形セル…滑走路直角方向の鋼管矢板と滑走路平行方向の鋼管矢板を繋いだ長方形のブロックのこと（2頁平面図参照）

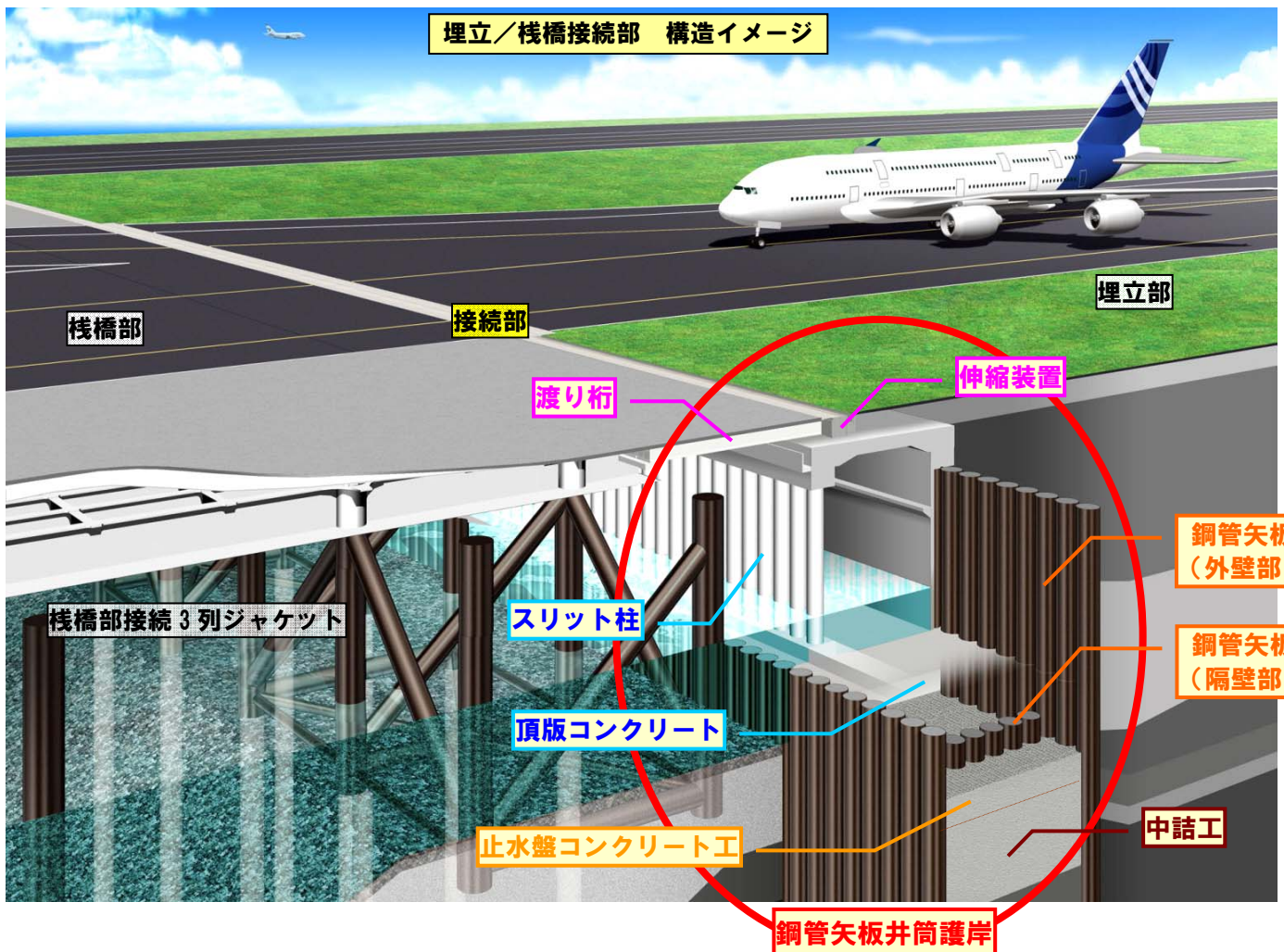
平成20年12月2日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

#### 問い合わせ先

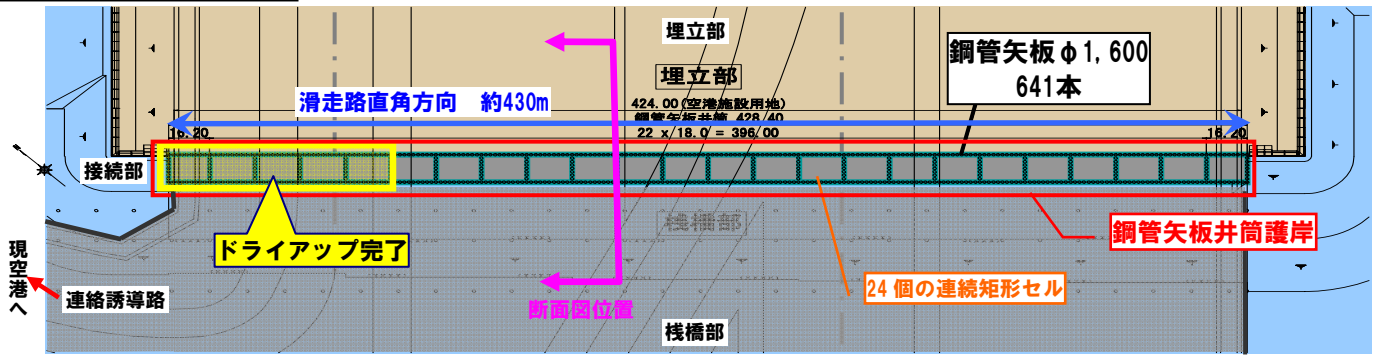
国土交通省	関東地方整備局	東京空港整備事務所	D滑走路プロジェクト推進室	北川・篠原・船橋
住所	東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階			
電話	03-5756-6580			
HP	<a href="http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/">http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/</a>			

■埋立／棧橋接続部 鋼管矢板井筒護岸 概要

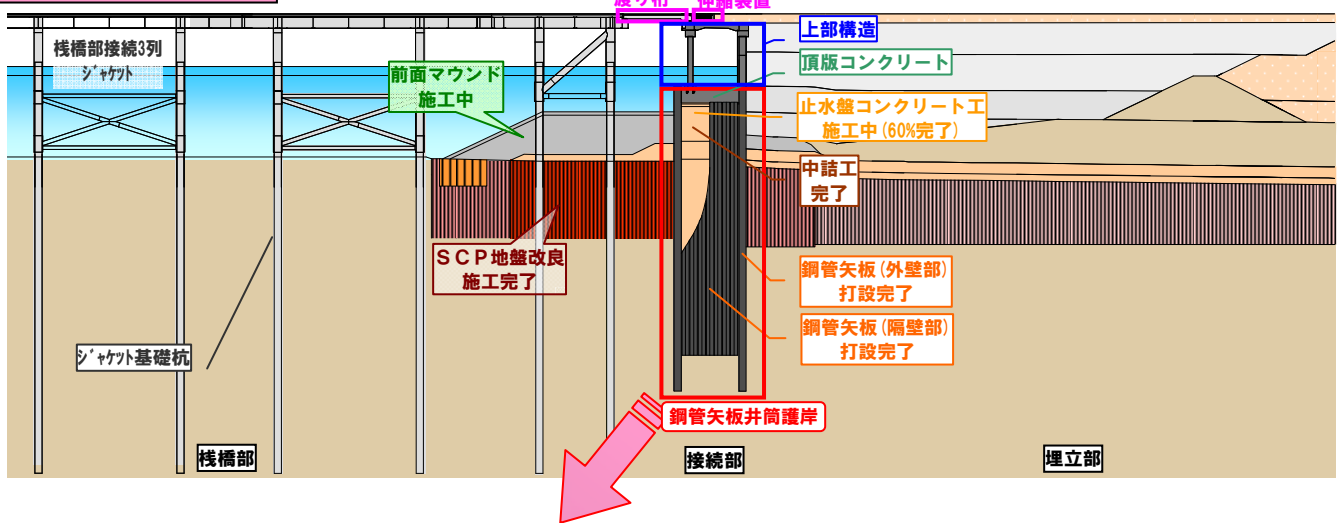


# 埋立/棧橋接続部 鋼管矢板井筒護岸 概要

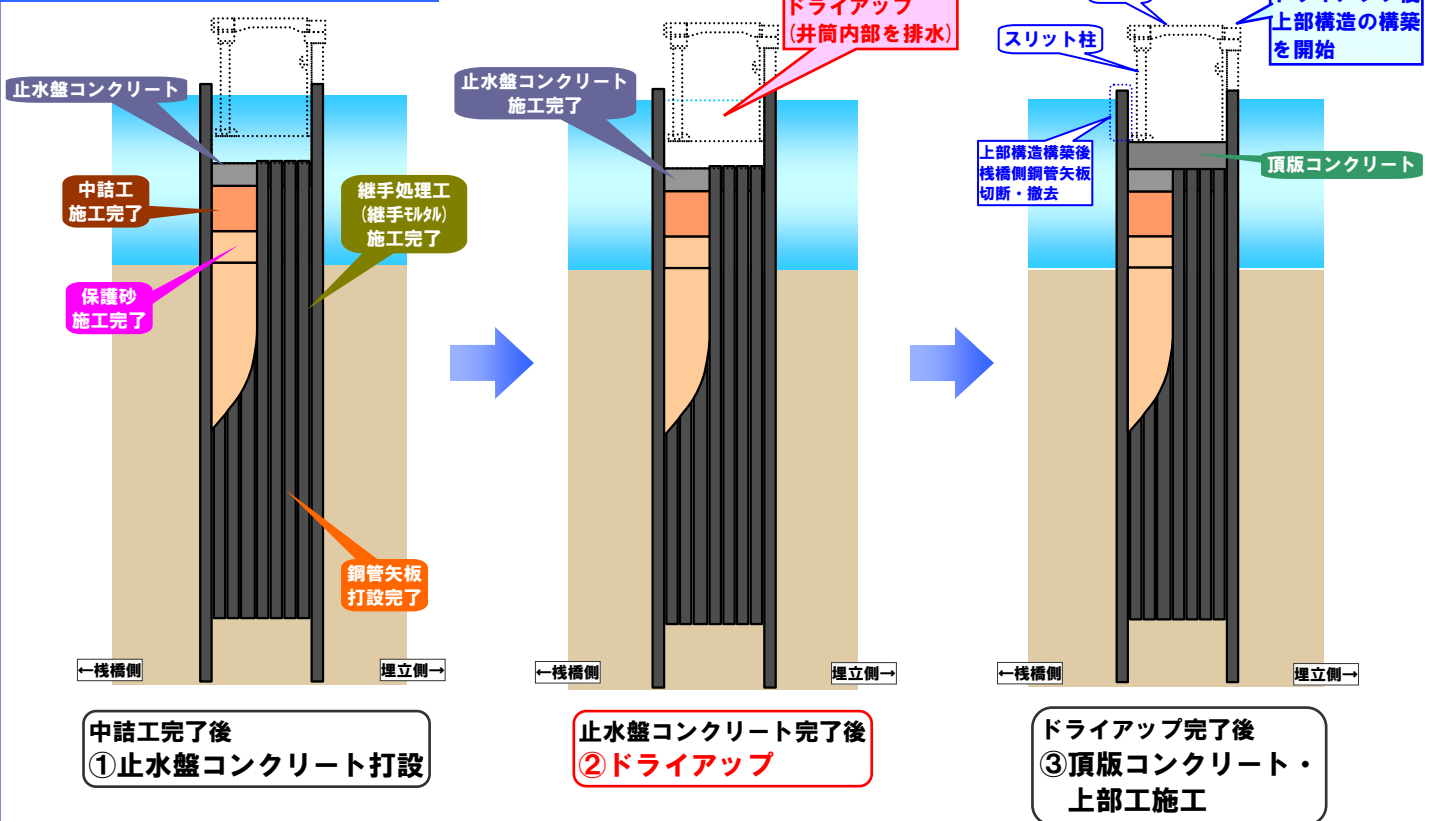
埋立/棧橋接続部 平面図



埋立/棧橋接続部 断面図



鋼管矢板井筒基礎内部の施工ステップ





# ■埋立／栈橋接続部 鋼管矢板井筒護岸 施工状況

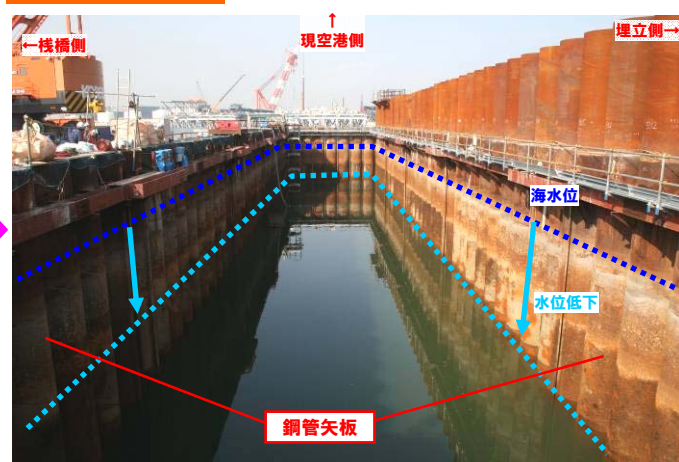
## 接続部施工状況



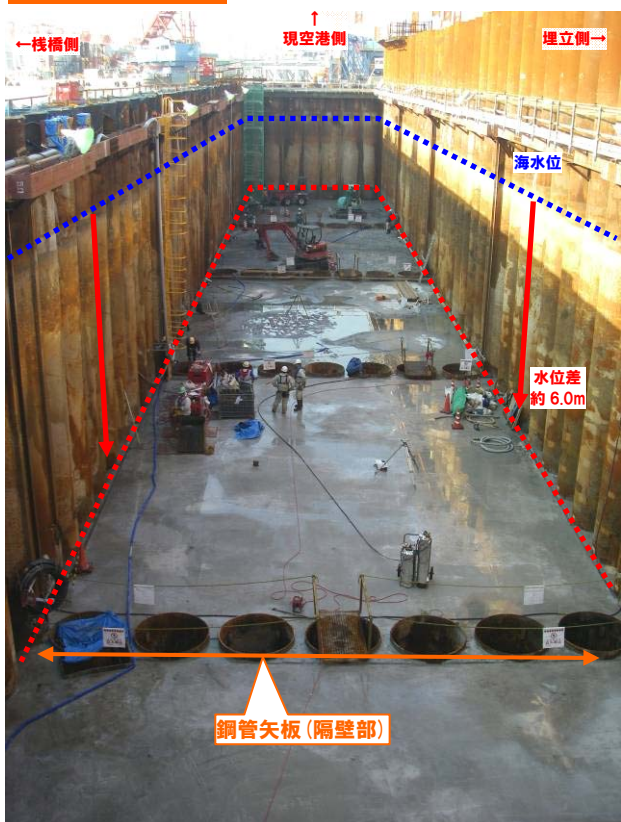
## ドライアップ前



## ドライアップ中



## ドライアップ後



## ドライアップ後 (井筒内部から撮影)

